

平成30年度 北九州空港の利用状況

1 利用者数

平成30年度の利用者数の合計は、1,783,432人で、過去最高の利用者数となった。

	平成30年度（人）		平成29年度（人）
	利用者数	前年度比	
利用者数合計	1,783,432	108.5%	1,644,094

(1) 定期便(国内)

国内線全体の利用者数の合計は、1,430,731人で、5年連続で、過去最高の利用者数を更新した。

	平成30年度（人）				平成29年度（人）		
	利用者数 （人）	前年度比	提供座席数 （人）	利用率	利用者数 （人）	提供座席数 （人）	利用率
東京（羽田）	1,343,138	103.7%	1,792,096	74.9%	1,294,848	1,795,921	72.1%
名古屋（小牧）	22,985	91.2%	54,924	41.8%	25,209	59,316	42.5%
沖縄（那覇）	64,450	227.0%	111,600	57.8%	28,397	44,400	64.0%
静岡 （H31.3.31～）※	158	—	168	94.0%	—	—	—
合計	1,430,731	106.1%	1,958,788	73.0%	1,348,454	1,899,637	71.0%

※平成30年度に新規就航した定期路線

(2) 定期便(国際)

国際線全体の利用者数の合計は、336,535人で、前年度に比べ大幅に増加し、過去最高の利用者数を更新した。

	平成30年度（人）				平成29年度（人）		
	利用者数 （人）	前年度比	提供座席数 （人）	利用率	利用者数 （人）	提供座席数 （人）	利用率
大連	18,802	105.6%	28,124	66.9%	17,811	24,260	73.4%
釜山	83,701	102.1%	114,912	72.8%	82,012	113,022	72.6%
ソウル（仁川）	157,740	108.1%	211,302	74.7%	145,958	193,212	75.5%
務安 （H30.5.27～）※	40,703	—	60,126	67.7%	—	—	—
襄陽 （H30.5.27～）※	7,568	—	12,940	58.5%	—	—	—
台北 （H30.10.28～）※	28,021	—	46,500	60.3%	—	—	—
合計	336,535	136.9%	473,904	71.0%	245,781	330,494	74.4%

※平成30年度に新規就航した定期路線

(3)チャーター便・臨時便

国内・国際線の合計で、利用者数は16,166人であった。

連続チャーター便の定期便化で昨年度より利用者数は減少したものの、平成30年度はホノルルや沖縄(与那国)など多方面へのチャーター便が実施された。

	平成30年度				平成29年度	
	利用者数 (人)	前年度比	就航便数 (便)	前年度比	利用者数 (人)	就航便数 (便)
国内	4,159	29.8%	48	26.5%	13,946	181
国際	12,007	33.4%	180	27.8%	35,913	648
合計	16,166	32.4%	228	27.5%	49,859	829

【今後の取組み】

- ・就航路線の維持・定着に向けて更なる利用促進を図る。
- ・就航から間もない路線については、本市及び就航先での認知度向上を図る。
- ・新規路線の誘致に積極的に取り組む。

2 貨物取扱量

平成30年度の実績は8,830トンで、前年度の180.9%と大幅な伸びとなった。

	平成30年度 (t)		平成29年度 (t)
		前年度比	
貨物取扱量合計	8,830	180.9%	4,880

※平成30年6月に定期貨物路線(沖縄(那覇)線)が新規就航

	平成30年度 (t)		平成29年度 (t)
		前年度比	
国内	4,197	114.1%	3,678
国際	4,633	385.4%	1,202

【今後の取組み】

これまで以上に広範囲の集貨や、更なる需要の掘り起こしに取り組み、貨物拠点化の推進に努める。